

令和 7 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立新森小路小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立新森小路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

○令和6年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合は77.0%であり、前年度を2.5p上回ったが、大阪市平均を4.5p下回っている。

○「廊下・階段は右側を歩いていますか」に肯定的に80%以上回答しているが、教職員とのギャップが大きい。

○令和6年度小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は80%であり、前年度を13p上回った。自己肯定感の向上を高める取組を年間通して行った結果である。

上記の結果より、違いを認めることができる児童、自分を好きになる児童を育てていく。違いを認めることができれば相手を尊重することができ、自分を好きになれば、自分も周りにいる人も大切にできる。そうすれば、いじめはなくなると考える。

また、ルール(きまり)を守ることができる児童も育てていく。なぜ、ルールがあるのか、どうすればルールを守ることができるかということについて考えさせ、児童が自らきまりを守ることができるようにしていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○学習が分からないから授業に集中できないといった傾向が見られる。また、学力経年調査で昨年度より上がった学年も学力の底上げができたとは言い難い。

○週1回以上のみんな遊びを取組内容の指標としたが、できていないクラスがあった。

上記の結果より、昨年度の学力経年調査分析結果を元に、児童の課題を明確にし、今年度の帯学習について考えていく。また、学力に課題のある児童を中心に据えた授業づくりをしていく。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和6年度、学習者用端末の利用状況は児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の約4%であり、指標を大幅に下回った。

○令和6年度、第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合は58.5%であった。

○令和6年度小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合は70.5%であり、前年度を1.7p上回ったが、大阪市平均を2.2p下回っている。

上記の結果より、いじめや不登校の早期発見・未然防止、学力向上のためにも学習者用端末の活用率を上げていく。また、長時間勤務を減らし、教職員が働きやすいと感じる職場にしていく必要がある。学力向上のためにも読書活動を今年度も継続して行う。児童が読書に親しむ機会が増えるような取り組みを検討する。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度末の小学校学力状況調査で「学校へ行くのが楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 令和 7 年度の小学校学力状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか。」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率 5 割以下の児童を、令和 3 年度より 3 ポイント以上減少させる。
- 令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「ふだんの 1 週間について、体育の時間以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを合計で 1 日平均どれくらいの時間していますか。」の項目について、60 分未満の児童の割合を 20%以下にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度の校内調査で「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している。」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、100%にする。
- 令和 7 年度にゆとりの日を週に 1 回以上実施する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては、1 日以上設置する。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 78%以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語の学力に課題の見られる児童を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を 67%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)
- ② 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を 60%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

## 大阪市立新森小路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> ①小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を78%以上にする。 ②小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 ③小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 ・「いじめは、どんなことがあってもいけないことだ」という心情を育てる。	
指標 ・児童連絡会を年間20回以上行い児童理解に努める。 ・学期に一回以上、各クラスでいじめに関する教材を取り入れる。	
取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】 ・自らきまりを守り主体的に行動することができる児童を育成する。	
指標 ・学期ごとにきまりを守る強化月間を設け、個人チェックを年3回行う。 ・児童アンケートにおける「廊下・階段は歩いていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。	
取組内容③【2 豊かな心の育成】 各学年学級で、実態に応じた自己肯定感や自己有用感を高める取り組みを行う。	
指標 ・ハイパーQUテストを年2回行い、児童理解に活用する。 ・児童アンケート・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

(様式2)

## 大阪市立新森小路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> ① 小学校学力経年調査における、国語の学力に課題の見られる児童を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 ② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を67%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① <b>【4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 学力に課題の見られる児童を中心とした取り組みを行う。 ----- 指標 ・学力向上タイムを設け、週に1度「文章力を高める学習」を行う。 ・年6回、各学年「研究授業」を実施し、教員の授業力向上を図る。 ----- 取組内容② <b>【5 健やかな体の育成】</b> ・子どもが意欲的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをするような取り組みを実施する。 ----- 指標 ・子どもが意欲的に運動に取り組むよう、運動委員会による外遊びの呼びかけ、集会委員会による遊びの紹介などを実施する。 ・各クラス週1回以上みんな遊びを実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

(様式2)

## 大阪市立新森小路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> ①授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く） ②第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を60%以上にする。 ③小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6 教育DXの推進】 週3回以上、「心の天気」を活用して児童理解に努め、デジタルドリルを朝学習等で実施して学力の向上に努める。	
指標 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。	
取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員が働きやすい環境を整備し、長時間勤務の解消を図る。	
指標 ・一部の教職員に業務が偏らないようにしたり、時間割を変更し放課後の時間を確保したりする。 ・学校閉庁日については、夏季休業期間は3日以上、冬季休業期間は2日以上設定し、実施する。	
取組内容③【8 生涯学習の支援】 読書に親しむ児童を育てる。	
指標 ・週1度、読書タイムを設ける。 ・本を読んだ冊数に応じて、表彰をする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	